



社協シンボルマーク
(社の字を図案化したものです)

ぬくもり

第40号

発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

menu

- 会長あいさつ
- 令和4年度 共同募金運動
- 各地区防災組織& 防災訓練
- ホームヘルパー募集

etc.



【写真：いきいきサロン「やまくり」】

正月とは？

本来「正月」とは新年最初のひと月、つまり一月の別称です。しかし、現在では正月行事をする期間を「正月」と捉えることが多く、地域差はありますが、一月七日の松の内までや、一月十五日の小正月までを指すようになっていきます。正月には「年神様」をお迎えし、おもてなしをして見送るための伝統行事が数多くあります。年神様とは新年を司る神様で、元旦に家にやってきて、一年の幸せや健康をもたらしてくれるとされています。

正月行事を通して、新年の五穀豊穡や家内安全を願いまししょう。





新年のご挨拶



社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

会長 藤谷 利 弘

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当社会福祉協議会に対しまして、町民皆様の温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

当初新型コロナは、「飛沫感染」と「接触感染」が主流であると伝えられていましたが、実際には、非常に強力な「空気感染ウイルス」だったと報道されています。(令和4年11月道新)

呼吸器感染症のウイルスは、感染者の呼気中の水分粒子に含まれて排出され、それを他人が吸い込んで感染する。医学の教科書は、重くて遠くまで飛ばない比較的大きな粒子による感染を「飛沫感染」、軽くて浮遊し遠くまで届く比較的小さな粒子による感染を「飛沫核感染」いわゆる「空気感染」としている。

マスクは、感染の確立を減らすためのものであり、ワクチンは感染を防ぐ効果が弱く、重症化阻止が主目的である。

変異株には有効であり、こうした科学的な基本を自覚し、過剰な手洗は必要なく、新型コロナウイルスの主な感染経路は「空気感染」と認識し、常時換気やマスクといった「吸い込まない」対策に、集中すべきと専門家は指摘しています。

いま、私たちの日常生活の周辺には、これまでにない、大きな不安や危険が迫っている。そんな気がします。

いくつかの例を挙げると、一つには、先に述べたコロナ感染、中々収束の先が見えないなど、長期化に対する不安!! 二つには、暴風雪やドカ雪に、車の運転など異常気象に対する不安や危険!! 三つには、北海道が今年7月に発表した、日本海溝及び千島海溝沿いの巨大地震が迫っている。その被害想定で初めて死者数が示された。函館市を

含む、道南沿岸市町全体で、5万6千人以上と、その中に知内町380人・木古内町1,000人とあり、一方で、早期の避難など各種対策によっては、大きく被害を減らせるとしてはいますが、命に係る、不安や危険がいっぱいです。4つには、某国などからの弾道ミサイルの発射です。領土、領海に落下する可能性ある場合などには、全国瞬時警報システム(Jアラート)が鳴りますが、どう避難すればよいのか等々・・・不安がいっぱい。国は抑止力を高めることによって、それを抑えるとのこと!! 国の責任として防衛力の強化を進めるため、令和5年度から、5年間で防衛費総額43兆円を確保するとし、いま論議されています。

しかし、日本は、防衛力を「必要最小限」とする、専守防衛を国の決まりとしてきた。それを歴史的な増額によって防衛力を強化することは、周辺国を刺激し、かえって緊張を招きかねないとの論評もあり、その推移を見守りたいと思いますが、不安がいっぱいです。

以上、懸案となっている、いくつかを列挙しましたが自分の命は、自分で守るを基本にしつつ、隣り近所あるいは地域での助け合いの中で、安全安心を確保していくことが重要です。

そのためにも町や町内会との連携を深め、今展開している自主防災活動に、これら懸案となっている、事柄を加え、幅広い活動の中で、研修・訓練を積み上げて、安全の質を高め不安解消に努めて参りたいと考えています。今後とも地域福祉の推進の為、町民の皆様に理解され支援されるよう役職員一丸となって努力してまいります。

皆様の、ご健康とご多幸を、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

会 長	藤谷 利弘							
副 会 長	田中 雄二	村上 壽						
理 事	一戸 峯子	大野 泰	小向美千代	小林 敬子	佐藤 元	手塚 守		
	吉田 成三							
監 事	木村 和義	宮崎 豊勝						
評 議 員	伊藤 孝	佐藤 曉樹	澤岡 孝彌	島田 重子	杉本 真弓	櫻庭 更生		
	手塚 恵一	手塚 春美	仲上 絢子	中川 豊彦	西山大太郎	橋本 政勝		
	前川 愛子	松山 和史	村上 祐子					
事務局長	村上 義久							

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。

10月1日から全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご理解とご協力により、たくさんの募金が寄せられました。誠にありがとうございました。

お寄せいただきました募金は、一旦、北海道共同募金会に送られ、令和5年度における当町の地域福祉事業や福祉団体などに約7割が役立てられ、残りの約3割は北海道内の広域的な課題を解決するほか、災害時の備えのために使われます。

募金総額 1,118,214 円

町内会各戸募金額

(単位:円)

町内会名	世帯数	募金額	町内会名	世帯数	募金額
中ノ川	64	52,900	涌元谷地	58	45,300
森越	107	86,300	はまなす	50	35,400
渡島知内	131	100,100	涌元	167	128,800
きらく	128	83,555	小谷石	43	44,500
重内	84	77,400	小計	1,223	997,755
湯ノ里	138	111,800	学校	2	14,896
上雷	42	41,100	企業	29	64,800
元町	156	141,200	募金箱他	4	40,763
前浜	55	49,400	合計	1,258	1,118,214

(令和4年12月16日現在)



涌元小学校 児童会



知内中学校 生徒会

心温まるたくさんの募金にご協力いただき、ありがとうございました。

各地区防災組織 & 防災訓練



避難訓練の様子（涌元町内会）



ハザードマップを活用し避難経路などを確認する参加者（渡島知内町内会）

近年、全国各地で自然災害が多発する中、日頃から防災意識を高めるため、各町内会に自主防災の組織づくりの支援を進めてきました。

現在は、全13町内会に組織が立ち上がり、防災避難訓練、炊き出し訓練、ハザードマップ等を活用し、避難経路や避難所の確認などの活動を実施しています。

ホームヘルパーを募集しています!



☆ 募 集 内 容 ☆

- ◇ 募 集 人 員 ・ ・ ホームヘルパー（非常勤） 若干名
- ◇ 応 募 資 格 ・ ・ 1) 初任者研修課程修了（旧ホームヘルパー2級）以上の資格を有する方
2) 自動車普通運転免許を有し、業務上自家用自動車の使用可能な方
- ◇ 賃 金 等 ・ ・ 1) 社会福祉法人知内町社会福祉協議会非常勤ホームヘルパー就業規則による
2) その他手当あり
- ◇ 勤務時間等 ・ ・ 1) 勤務表により自宅から利用者宅へ直行・直帰の勤務
2) その他非常勤ホームヘルパー就業規則による

1. 申 込 方 法 履歴書（写真付き）、資格証書の写しをご持参ください
2. 受 付 期 間 随時受付（土、日曜日は受付できません）
3. 申 込（問合せ）〒049-1103 知内町字重内21番地1 知内町社会福祉協議会（知内町民センター1階） ☎01392-5-4071
4. 面 接 選 考 日 追って通知します
5. 採 用 面接試験により採用

社協だより「ぬくもり」 令和5年1月号 発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

〒049-1103 上磯郡知内町字重内21-1 知内町民センター内

TEL (01392) 5-4071 FAX (01392) 5-7441